

エチレンジアミン四酢酸 (CAS no. 60-00-4)

文献信頼性評価結果

示唆された作用							
エストロゲン	抗エストロゲン	アンドロゲン	抗アンドロゲン	甲状腺ホルモン	抗甲状腺ホルモン	脱皮ホルモン	その他*
—	—	—	—	—	—	—	—

○：既存知見から示唆された作用

—：既存知見から示唆されなかった作用

*その他：視床下部—下垂体—生殖腺軸への作用等

エチレンジアミン四酢酸の内分泌かく乱作用に関連する報告では、内分泌かく乱作用に関する試験対象物質として選定する根拠が得られなかった。

参考文献

Schardein JL, Sakowski R, Petrere J and Humphrey RR (1981) Teratogenesis studies with EDTA and its salts in rats. *Toxicology and Applied Pharmacology*, 61 (3), 423-428.

Brownie CF, Brownie C, Noden D, Krook L, Haluska M and Aronson AL (1986) Teratogenic effect of calcium edetate (CaEDTA) in rats and the protective effect of zinc. *Toxicology and Applied Pharmacology*, 82 (3), 426-443.

(平成 27 年度第 2 回化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会 資料 1 より抜粋)